

平成28年度「チャレンジテスト」検証シート

学校名 豊崎中学校

【 第 3 学 年 】

生徒数(人) 81

平均点(点)

平均無解答率(%)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	58.0	51.0	46.7	39.0	56.3
大阪市	58.8	52.7	47.1	37.6	56.8
大阪府	59.6	52.2	48.1	38.6	57.9

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	9.0	4.5	7.3	7.0	5.2
大阪市	10.7	6.0	8.6	9.6	5.5
大阪府	10.1	6.4	8.3	9.7	5.4

結果の概要

理科は大阪府の平均を上回ったが、他の教科は大阪府および大阪市の平均を下回った。また得点分布をみると、府や市平均と比べるとやや中間層が弱い。しかし平均無回答率は大阪府の平均を下回っており、何事にも積極的な学年の様子がうかがえる。質問紙からは授業の内容はよく分かるが75.3%(5教科平均)と高いが、自分の考えを話したり書いたりする項目は、理科以外は府の平均よりも低く、それが府平均との差にも影響していると考えられる。

成果と今後取り組むべき課題

ほとんどの生徒が落ち着いた雰囲気の中で熱心に授業を受けている。無気力な生徒は少なく、何事にも積極的な学年である。しかし学習については塾まかせのところがあり、学習時間は長くやっているが、学校の宿題や復習の家庭学習の時間は短く、学力の定着という意味でも課題である。ただ理科については、日頃から実験を多く取り入れたり、プロジェクター等のICT機器を活用した成果が現れた。学校ではノートや宿題の点検や提出物の確認を徹底し、家庭では学習状況の把握を啓蒙していく。